

ワクワク感を引き出すまちづくり

背景

インスタ映えするところに人が集まる、とくに若い人たちが、の傾向が全国的にあると聞く。それなら、と、まちづくりの中でワクワク感を創出するとは何を意味し、どうしたら広がってゆくのだろうか、と考える。突き詰めると、新しく、共感を呼び、人が習うようになるもの、といえないだろうか。身近なところから、実現可能性の高いものから提案する。

方法

①白い屋根の色、白い樋の色

ひところは屋根瓦の灰色と黒およびそれと同色の樋の家並みが揃っていると古式ゆかしいということで写真に収められる傾向にあった。が、温暖化の中、そしてそれが当分続くと言われる中、白色の屋根に白色の樋の組み合わせというのはどうだろう。太陽光を反射して家を守り天井裏部分の結露を防ぐなど一石二鳥になるといえないだろうか。

②まちの階段のカラーリング

マンションにつながる階段、大きな住宅団地内の数ある階段、公園やお寺に辿り着く階段など至るところに階段はあるが、階段ってどうしてこうも灰色ばかりなのでしょう。所有者の好む色、住まう人たちが好む色、町を象徴する色やイメージ色など、階段の色が色々であった方がインスタ映えするし、住む人や訪れる人にワクワク感を持ってもらえないだろうか。

③窓シャッターや車庫シャッターもカラフルに

窓や車庫シャッターも灰色とか肌色のものがほとんどであるが、所有者の好みの色にできないだろうか。場合によってはひと棟の中で各所異なる色あいでもよいと考えられる。

④街路沿線沿い並木づくり

道路や鉄道など連なるところに桜や銀杏、椰子など土地所有者も好み、親しみとインスタ映えする木を並べて植え背景や周辺景色と合わせたまちの名景づくりに精を出してはどうだろう。

結果

①住む人、訪ねる人たちにワクワク感が生まれるし会話も増す。評判が取れば住まいやまちに誇りも増すということになるだろう。

②住まう人たちに連帯感が生まれることになり、さらにこれもなどと例えば連絡路型の階段や連なる土地などにもと行政や業者も参加するようになる機運も生まれるようになる。

③特に屋根や窓シャッターの白色化は、今世紀末には平均気温が4℃も気温が上がるといわれるほどまだまだ続く温暖化への実効性も持ち得る。